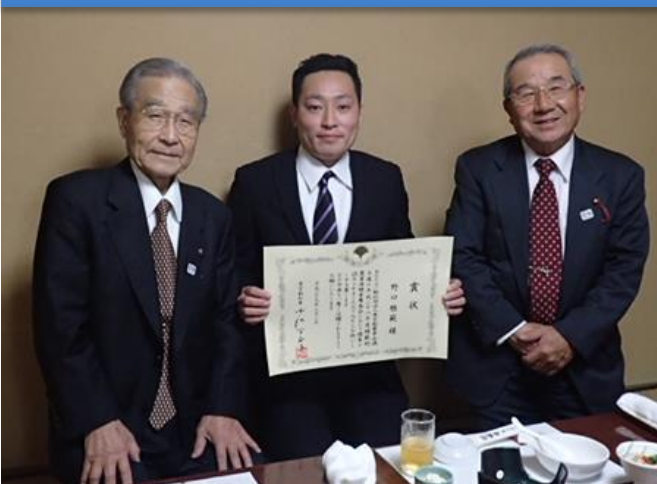




ひので大地



第 58 回東京都農業委員会・農業者大会 開催



↑ 第 58 回東京都農業委員会・農業者大会で、野口 雅範 氏が農業後継者顕彰の都知事賞を受賞されました。

☆おもなとびくす☆

- ☆新年度挨拶……………2P
- ☆東京都指導農業士制度……………2P
- ☆農地パトロール実施……………3P
- ☆だいこん栽培体験実施……………3P
- ☆獣害対策……………4P
- ☆認定農業者説明会実施……………4P

新年度挨拶



会長 神田 功

町民の皆様には、平素より日の出町の農業に對しまして、深いご理解とご協力を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

昨年の4月1日より改正農業委員会法が施行され、今まで明文化されていなかった農地等の利用の最適化が農業委員会の重点活動として明文化されました。日の出町農業委員会では、農地利用の最適化活動として、町内の農地全域を対象とした農地パトロールを実施し、町内の遊休農地を把握し、担い手となる認定農業者や新規就農者への農地の貸し借りを推進してまいりました。

「見える農業委員会活動」を意識し、農業委員活動を行うときには、帽子と腕章、そして作業着を身に着け、農業委員であることが一目でわかるようにいたしました。

昨年度は日の出町農業の中心となる担い手となる認定農業者の認定式が行われ、法人を含め、前回よりも3経営体多い14経営体が認定農業者となりました。



↑平成28年度 認定農業者認定証交付式の様子

日の出町農業委員会として、担い手となる認定農業者はもろろんのこと、農業後継者や新規就農者の支援を関係機関とともに行っていく所存でございます。



指導農業者士制度が始まりました

新規就業者を奨励しました

東京都では、地域農業のさらなる振興を図っていくために、平成28年度より、指導農業者士制度を創設しました。

東京都指導農業者士とは、農業技術や経営管理能力に優れた東京の農業者であり、農業の担い手に対する指導活動を行うことにより、力強い東京農業の発展に資する農業者のことを言います。

日の出町では、認定農業者の馬場敏明氏が東京都指導農業者士として認定されました。



新たに農林水産業に就業した65歳未満で将来に渡って農林水産業に就業する意欲がある方の奨励を行いました。平成28年度、日の出町では4名の方の奨励を行いました。



↑平成28年度 贈呈式の様子

★東京都指導農業者士になるには★
今年度も東京都指導農業者士を募集いたします。(7月から8月) スケジュール等については、事務局までお問合せ下さい。

★認定農業者とは★
効率的で安定した魅力ある農業経営を目指す農業者が、自ら作成する**農業経営改善計画**を、町が基本構想に照らして認定し、その計画の達成に向けて支援を講じていこうとするものです。

農地パトロールを実施

昨年に引き続き、平成29年7月14日に農地パトロールを行いました。町内の農地を対象として、5班に別れ調査を実施しました。

調査の結果、雑草等が繁茂している畑が多く見受けられました。

肥培管理の不十分な農地の所有者については、地区担当の農業委員から口頭指導を行いました。

肥培管理が不十分な農地は、雑草のみならず、病害虫や有害鳥獣を発生させる原因になり、周辺の農業への悪影響を生じさせる恐れがあります。

農地の所有者については、農地法第2条の2で「農地について所有権又は賃借権その他の使用及び収益を目的とする権利を有する者は、当該農地の農業上の適正かつ効率的な利用を確保するようにしなければならない。」



と定められております。

今後とも農地の所有者の皆様につきましては、農地の適正かつ効率的な利用にご協力いただけますようお願いいたします。



その農地貸してみませんか??

農地所有者で自身で農地を耕作することができない方、農業経営基盤強化促進法の利用権設定による「農地の貸し借り」を進めてみませんか。

詳しくは農業委員会事務局まで

だいこん栽培体験を実施

毎年、食育の一環として、だいこん収穫体験を町内の保育園5園を対象に行ってきましたが、平成28年度は、新たに幼稚園を加え、6園で行うことになりました。

また、今回から「JAあきがわ」日の出支店のご協力をいただいております。

子どもたちが畑にきて、種まき、間引き、収穫を通して農業に触れ合い、普段自分たちが食べているものが実際にどのようなようにつくられているのかを体験してもらいました。

日照不足や虫の大量発生で生育が危ぶまれましたが、無事に収穫することができました。

採れた大根は保育園の給食として使われました。



農地の売買、貸借には、農地法の手続きが必要となります。詳しくは農業委員会事務局まで。

農業者年金に加入しよう

農業者年金の特徴は、支払う保険料が全額社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税になります。詳しくは、農業委員会事務局まで

PPV(ウメ輪紋ウイルス)について
日の出町は未だPPVの防除区域です。防除区域外へのウメやモモなどの植物の持ち出しは制限されています。

農業委員会への申請の
締切は毎月15日まで

第57回東京都農業委員会・ 農業者大会が開催されました

平成28年2月に第57回東京都農業委員会・農業者大会が開催され、町内の農業者 原島 克佳 氏が企業の農業顕彰を受賞されました。



↑ 企業の農業経営顕彰授賞式の様子

ふれあい農作物直売所で 地元の野菜を食べよう!!!

地元で採れた新鮮な野菜を販売しています。年中無休(年末年始を除く)販売時間、9時から17時まで。



↑ 毎年7月には感謝祭。11月には収穫祭が行われます。写真は、感謝祭の様子。地元野菜を使った焼きそばや、焼きトウモロコシが販売されました。

鳥獣被害を ふやしていませんか?

畑に、野菜くずや生ごみなどをそのまま放置すると、野生鳥獣のエサとなつてしまします。また、防獣策をとっていない畑も恰好のエサ場になってしまう危険性があります。

町では、電気策の貸出し事業を実施しています。詳しくは農林振興係までお問合せください。

日の出町産業まつりに 宝船が出展されました

今年もJAあきがわ青壮年部と日の出町農業振興委員会の協賛による野菜と花の宝船が出展されました。鮮やかな人参で町章をあしらうなど、毎年いろいろな工夫がされており、たくさんの方の来場者の目を楽しませました。



↑ 会場でも注目を集める宝船。二日目の午後には、宝分けが行われ、大盛況のうちに完売御礼となりました。

認定農業者説明会を実施

平成28年に認定農業者説明会が開催され、関係団体から認定農業者の制度説明が行われました。



↑ 認定農業者説明会の様子。

【豆知識】

農作物の名前の由来
「アングスのメロン」ではなく、「安心ですメロン」の略。昔は甘くなかったりしたこともあったとかで、安心して食べられるメロンが開発され、「安心して食べられるメロン」ということから名づけられたそうです。

【人事異動のお知らせ】

平成29年4月1日付の人事異動で、小森事務局長が異動され、新たに吉村事務局長が就任されました。

【編集後記】

近年、都市農業をめぐる評価が見直され、農地の有する多面的機能に注目が集まっております。

ひと昔前は、どこにでもあった風景が経済成長とともに急激に失われ、当たり前だったものが、当たり前でなくなってきたしまいました。

一度、荒廃してしまったり、農地以外に転用してしまうと、再度農地に戻すことは非常に困難になってまいります。

今ある農地を将来の担い手に少しでも多く残していかなくはなりません。

編集委員紹介

清水和夫 委員
関石啓二 委員
矢治一俊 委員
原島克佳 委員

お問合せ

農業委員会事務局

(597)・0511

内線246